

第 XVI 部

テレビジョン放送とインターネット

第16部

テレビジョン放送とインターネット

第1章 設立目的

IPTV ワーキンググループは WIDE 合宿 2008 春における「テレビとインターネット」BoF に始まる。インターネットを利用した放送サービスについて情報交換を行い、各所へ WIDE プロジェクトとしての提言を行うことを目的にワーキンググループ設立となった。

第2章 WIDE 合宿 2008 春

現在急速に普及し、注目が高まっているインターネットを利用した放送サービスについて最新の情報を交換する場の必要性が求められていた。

議論の場の第一段階として、WIDE 合宿 2008 春内 3 月 5 日 BoF1 にて「テレビとインターネット」BoF が行われた。

本 BoF では IPTV の基本知識、代表的な IPTV 規格に関する概要などについての知識共有がなされた。その上でプログラマ、著作権保護、インターネットオペレータ、などの観点からインターネット上における放送機構の抱える課題について議論がなされた。

議論の結果、引き続き情報共有を行い、意見交換する場が必要として IPTV ワーキンググループの設立に繋がった。

第3章 WIDE 合宿 2008 秋

WIDE 合宿 2008 秋内 9 月 10 日 BoF2 にて第 1 回 IPTV ワーキンググループ BoF が行われた。

本 BoF では「TV impact on Internet Layer3」と題し開催された。主な議題を以下に挙げる。

- Characteristic of TV
 - Simulcast
 - Traffic size
 - A lot of TV like media
- TV related devices
 - Home Storage
 - Network PVR
 - Audrew File System for Video
- acTVila
- Streaming Service/Video Services
- Live TV
 - How can we distribute to 20 Million homes
 - P2P
 - Current Multicast
 - NGN
- Layer 3 impact of TV
- Multicast re-Deployment
- Multi 1-Seg in 洞爺湖 summit
- TV in Home
- Good Combinations of the Arts

特にマルチキャストによる TV サービスについて積極的なブレインストーミングが行われた。その上で運用や開発だけでなく、標準化の観点からも動向を見ていかなければならないという意見が出た。

第4章 まとめ

引き続き、当ワーキンググループではインターネットと TV に関する議論、及び提言を目標に活動を行う。